

## 出題意図・解答のポイント

研究科	法学研究科
課程	博士課程前期課程
入試種別	一般入学試験
筆記試験科目	専修科目・選択科目

法学研究科では、現代社会の複雑な課題に対して、法的・政治的な知識を活用し、論理的かつ説得的な議論を通じた民主的な合意形成に貢献できる人材の育成を目的としています。そのため、入試問題においては、以下のアドミッション・ポリシーに示す能力を有しているかを確認することを目的として作成・出題しています。

### 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

#### ■ 博士課程前期課程

法学研究科では、社会に関する正確な専門的知識及び各種情報に根拠づけられた論理的かつ説得的な議論を通じて民主的な合意形成への貢献に意欲する人を、本研究科に適性のある学生として受け入れています。特に次の点が重視されます。

##### ・ 知識・技能

今日の法制度及び政治制度を含む社会制度の歴史的形成過程について、研究者または高度専門職業人として活動するために必要とされる基本的知識を修得していること、法的な問題及び政治的な問題について諸外国の議論を理解する能力を有していること、他者の見解を十分に理解し、かつ自己の見解を表明し得る能力を有していること。

##### ・ 思考力・判断力・表現力等の能力

異なる文化的背景や価値観を有する他者の見解の意義を認めつつ、法制度及び政治制度の正確な理解に基づいて科学的に説明し、規範や歴史的経験によって十分に根拠づけられた議論を通じて他者を説得し、合意を形成しようという姿勢を有していること。

##### ・ 主体的な態度

社会的な諸事象に関心を持ち、法制度および政治制度にかかる専門的知識に基づいてそうした諸事象に対して自らの見解を形成し、異なる利益や価値を民主的に調整しながら問題解決に向けて行動し、かつこれを修士論文または特定課題研究成果報告書として自らの解決策を提案することで、公正かつ柔軟な思考に基づいた問題解決能力を有していること。

以上のことから、入試問題は単なる知識の確認にとどまらず、論理的思考や表現力、主体的な問題解決能力を総合的に図る内容となっています。

## 出題意図・解答のポイント

研究科	法学研究科
課程	博士課程前期課程
入試種別	一般入学試験
筆記試験科目	外国語科目(法政研究コースのみ)

法学研究科では、現代社会の複雑な課題に対して、法的・政治的な知識を活用し、論理的かつ説得的な議論を通じた民主的な合意形成に貢献できる人材の育成を目的としています。そのため、入試問題においては、以下のアドミッション・ポリシーに示す能力を有しているかを確認することを目的として作成・出題しています。

### 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

#### ■ 博士課程前期課程

法学研究科では、社会に関する正確な専門的知識及び各種情報に根拠づけられた論理的かつ説得的な議論を通じて民主的な合意形成への貢献に意欲する人を、本研究科に適性のある学生として受け入れています。特に次の点が重視されます。

##### ・ 知識・技能

今日の法制度及び政治制度を含む社会制度の歴史的形成過程について、研究者または高度専門職業人として活動するために必要とされる基本的知識を修得していること、法的な問題及び政治的な問題について諸外国の議論を理解する能力を有していること、他者の見解を十分に理解し、かつ自己の見解を表明し得る能力を有していること。

##### ・ 思考力・判断力・表現力等の能力

異なる文化的背景や価値観を有する他者の見解の意義を認めつつ、法制度及び政治制度の正確な理解に基づいて科学的に説明し、規範や歴史的経験によって十分に根拠づけられた議論を通じて他者を説得し、合意を形成しようという姿勢を有していること。

##### ・ 主体的な態度

社会的な諸事象に関心を持ち、法制度および政治制度にかかる専門的知識に基づいてそうした諸事象に対して自らの見解を形成し、異なる利益や価値を民主的に調整しながら問題解決に向けて行動し、かつこれを修士論文または特定課題研究成果報告書として自らの解決策を提案することで、公正かつ柔軟な思考に基づいた問題解決能力を有していること。

以上のことから、入試問題は単なる知識の確認にとどまらず、論理的思考や表現力、主体的な問題解決能力、法律や政治における課題や自己の意見、他者の見解について十分に理解できる外国語能力等について総合的に図る内容となっています。

## 出題意図・解答のポイント

研究科	法学研究科
課程	博士課程前期課程
入試種別	外国人留学生入学試験
筆記試験科目	専修科目・選択科目

法学研究科では、現代社会の複雑な課題に対して、法的・政治的な知識を活用し、論理的かつ説得的な議論を通じた民主的な合意形成に貢献できる人材の育成を目的としています。そのため、入試問題においては、以下のアドミッション・ポリシーに示す能力を有しているかを確認することを目的として作成・出題しています。

### 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

#### ■ 博士課程前期課程

法学研究科では、社会に関する正確な専門的知識及び各種情報に根拠づけられた論理的かつ説得的な議論を通じて民主的な合意形成への貢献に意欲する人を、本研究科に適性のある学生として受け入れています。特に次の点が重視されます。

##### ・ 知識・技能

今日の法制度及び政治制度を含む社会制度の歴史的形成過程について、研究者または高度専門職業人として活動するために必要とされる基本的知識を修得していること、法的な問題及び政治的な問題について諸外国の議論を理解する能力を有していること、他者の見解を十分に理解し、かつ自己の見解を表明し得る能力を有していること。

##### ・ 思考力・判断力・表現力等の能力

異なる文化的背景や価値観を有する他者の見解の意義を認めつつ、法制度及び政治制度の正確な理解に基づいて科学的に説明し、規範や歴史的経験によって十分に根拠づけられた議論を通じて他者を説得し、合意を形成しようという姿勢を有していること。

##### ・ 主体的な態度

社会的な諸事象に関心を持ち、法制度および政治制度にかかる専門的知識に基づいてそうした諸事象に対して自らの見解を形成し、異なる利益や価値を民主的に調整しながら問題解決に向けて行動し、かつこれを修士論文または特定課題研究成果報告書として自らの解決策を提案することで、公正かつ柔軟な思考に基づいた問題解決能力を有していること。

以上のことから、入試問題は単なる知識の確認にとどまらず、論理的思考や表現力、主体的な問題解決能力を総合的に図る内容となっています。

## 出題意図・解答のポイント

研究科	法学研究科
課程	博士課程後期課程
入試種別	一般入学試験
筆記試験科目	英語

法学研究科では、現代社会の複雑な課題に対して、法的・政治的な知識を活用し、論理的かつ説得的な議論を通じた民主的な合意形成に貢献できる人材の育成を目的としています。そのため、入試問題においては、以下のアドミッション・ポリシーに示す能力を有しているかを確認することを目的として作成・出題しています。

### 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

#### ■ 博士課程後期課程

法学研究科では、博士課程前期課程修了程度の研究力を踏まえ、社会に関する正確でより高度な専門的知識及び各種情報に根拠づけられた論理的かつ説得的な議論を通じて民主的な合意形成への貢献に意欲する人を、本研究科に適性のある学生として受け入れています。特に次の点が重視されます。

- 知識・技能  
今日の法制度及び政治制度を含む社会制度の歴史的形成過程について、研究者または高度専門職業人として活動するために必要とされるより高度な専門的知識を修得していること、法的な問題及び政治的な問題について諸外国の議論を理解し、発信するために外国語能力等を有していること、他者の見解を十分に理解し、かつ自己の見解を表明し得る日本語能力を有していること。
- 思考力・判断力・表現力等の能力  
異なる文化的背景や価値観を有する他者の見解の意義を認めつつ、法制度及び政治制度の正確でより高度な理解に基づいて科学的に説明し、規範や歴史的経験によって十分に根拠づけられた議論を通じて他者を説得し、合意を形成しようという姿勢を有していること。
- 主体的な態度  
社会的な諸事象に関心を持ち、法制度及び政治制度にかかるより高度な専門的知識に基づいてそうした諸事象に対して自らの見解を形成し、異なる利益や価値を民主的に調整しながら問題解決に向けて行動し、かつこれを博士論文として自らの解決策を提案することで、公正かつ柔軟な思考に基づいた問題解決能力を有していること。

以上のことから、入試問題は単なる知識の確認にとどまらず、論理的思考や表現力、主体的な問題解決能力、法律や政治における課題や自己の意見、他者の見解について十分に理解できる外国語能力等について総合的に図る内容となっています。

## 出題意図・解答のポイント

研究科	法学研究科
課程	博士課程後期課程
入試種別	一般入学試験
筆記試験科目	英語以外の外国語

法学研究科では、現代社会の複雑な課題に対して、法的・政治的な知識を活用し、論理的かつ説得的な議論を通じた民主的な合意形成に貢献できる人材の育成を目的としています。そのため、入試問題においては、以下のアドミッション・ポリシーに示す能力を有しているかを確認することを目的として作成・出題しています。

### 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

#### ■ 博士課程後期課程

法学研究科では、博士課程前期課程修了程度の研究力を踏まえ、社会に関する正確でより高度な専門的知識及び各種情報に根拠づけられた論理的かつ説得的な議論を通じて民主的な合意形成への貢献に意欲する人を、本研究科に適性のある学生として受け入れています。特に次の点が重視されます。

- 知識・技能  
今日の法制度及び政治制度を含む社会制度の歴史的形成過程について、研究者または高度専門職業人として活動するために必要とされるより高度な専門的知識を修得していること、法的な問題及び政治的な問題について諸外国の議論を理解し、発信するために外国語能力等を有していること、他者の見解を十分に理解し、かつ自己の見解を表明し得る日本語能力を有していること。
- 思考力・判断力・表現力等の能力  
異なる文化的背景や価値観を有する他者の見解の意義を認めつつ、法制度及び政治制度の正確でより高度な理解に基づいて科学的に説明し、規範や歴史的経験によって十分に根拠づけられた議論を通じて他者を説得し、合意を形成しようという姿勢を有していること。
- 主体的な態度  
社会的な諸事象に関心を持ち、法制度及び政治制度にかかるより高度な専門的知識に基づいてそうした諸事象に対して自らの見解を形成し、異なる利益や価値を民主的に調整しながら問題解決に向けて行動し、かつこれを博士論文として自らの解決策を提案することで、公正かつ柔軟な思考に基づいた問題解決能力を有していること。

以上のことから、入試問題は単なる知識の確認にとどまらず、論理的思考や表現力、主体的な問題解決能力、法律や政治における課題や自己の意見、他者の見解について十分に理解できる外国語能力等について総合的に図る内容となっています。

## 出題意図・解答のポイント

研究科	法学研究科
課程	博士課程後期課程
入試種別	外国人留学生入学試験
筆記試験科目	専門科目

法学研究科では、現代社会の複雑な課題に対して、法的・政治的な知識を活用し、論理的かつ説得的な議論を通じた民主的な合意形成に貢献できる人材の育成を目的としています。そのため、入試問題においては、以下のアドミッション・ポリシーに示す能力を有しているかを確認することを目的として作成・出題しています。

### 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

#### ■ 博士課程後期課程

法学研究科では、博士課程前期課程修了程度の研究力を踏まえ、社会に関する正確でより高度な専門的知識及び各種情報に根拠づけられた論理的かつ説得的な議論を通じて民主的な合意形成への貢献に意欲する人を、本研究科に適性のある学生として受け入れています。特に次の点が重視されます。

- 知識・技能  
今日の法制度及び政治制度を含む社会制度の歴史的形成過程について、研究者または高度専門職業人として活動するために必要とされるより高度な専門的知識を修得していること、法的な問題及び政治的な問題について諸外国の議論を理解し、発信するために外国語能力等を有していること、他者の見解を十分に理解し、かつ自己の見解を表明し得る日本語能力を有していること。
- 思考力・判断力・表現力等の能力  
異なる文化的背景や価値観を有する他者の見解の意義を認めつつ、法制度及び政治制度の正確でより高度な理解に基づいて科学的に説明し、規範や歴史的経験によって十分に根拠づけられた議論を通じて他者を説得し、合意を形成しようという姿勢を有していること。
- 主体的な態度  
社会的な諸事象に関心を持ち、法制度及び政治制度にかかるより高度な専門的知識に基づいてそうした諸事象に対して自らの見解を形成し、異なる利益や価値を民主的に調整しながら問題解決に向けて行動し、かつこれを博士論文として自らの解決策を提案することで、公正かつ柔軟な思考に基づいた問題解決能力を有していること。

以上のことから、入試問題は単なる知識の確認にとどまらず、論理的思考や表現力、主体的な問題解決能力を総合的に図る内容となっています。

## 出題意図・解答のポイント

研究科	法学研究科
課程	博士課程後期課程
入試種別	外国人留学生入学試験
筆記試験科目	外国語科目

法学研究科では、現代社会の複雑な課題に対して、法的・政治的な知識を活用し、論理的かつ説得的な議論を通じた民主的な合意形成に貢献できる人材の育成を目的としています。そのため、入試問題においては、以下のアドミッション・ポリシーに示す能力を有しているかを確認することを目的として作成・出題しています。

### 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

#### ■ 博士課程後期課程

法学研究科では、博士課程前期課程修了程度の研究力を踏まえ、社会に関する正確でより高度な専門的知識及び各種情報に根拠づけられた論理的かつ説得的な議論を通じて民主的な合意形成への貢献に意欲する人を、本研究科に適性のある学生として受け入れています。特に次の点が重視されます。

- 知識・技能  
今日の法制度及び政治制度を含む社会制度の歴史的形成過程について、研究者または高度専門職業人として活動するために必要とされるより高度な専門的知識を修得していること、法的な問題及び政治的な問題について諸外国の議論を理解し、発信するために外国語能力等を有していること、他者の見解を十分に理解し、かつ自己の見解を表明し得る日本語能力を有していること。
- 思考力・判断力・表現力等の能力  
異なる文化的背景や価値観を有する他者の見解の意義を認めつつ、法制度及び政治制度の正確でより高度な理解に基づいて科学的に説明し、規範や歴史的経験によって十分に根拠づけられた議論を通じて他者を説得し、合意を形成しようという姿勢を有していること。
- 主体的な態度  
社会的な諸事象に関心を持ち、法制度及び政治制度にかかるより高度な専門的知識に基づいてそうした諸事象に対して自らの見解を形成し、異なる利益や価値を民主的に調整しながら問題解決に向けて行動し、かつこれを博士論文として自らの解決策を提案することで、公正かつ柔軟な思考に基づいた問題解決能力を有していること。

以上のことから、入試問題は単なる知識の確認にとどまらず、論理的思考や表現力、主体的な問題解決能力、法律や政治における課題や自己の意見、他者の見解について十分に理解できる外国語能力等について総合的に図る内容となっています。